

授業科目 解剖学実習Ⅱ

【担当教員名】 西野幾子、山口康昭、山田まりえ、		対象学年	1	対象学科	理学・作業
		開講時期	後期	必修・選択	必修
		単位数	1	時間数	30
【＜概要＞又は＜一般目標：G I O＞】 人体模型標本、関節機能模型、人体骨格標本などを用いて、人体、特に筋系、関節・靱帯系を理解する。 人体組織、特に骨、軟骨、筋の微細構造を光学顕微鏡的に観察し、それらを理解する。					
【＜学習目標＞又は＜行動目標：S B O＞】 1. 骨・筋組織の構造を光学顕微鏡的に概説できる。 2. 主な関節を構成する骨、それらに付随する靱帯を観察・スケッチし、それらの名称、簡単な機能を説明できる。 3. 上肢・下肢の筋を観察・スケッチし、それらの名称と機能を説明できる。 4. 体幹の筋を観察・スケッチし、それらの名称を説明できる。 5. 体表解剖と内部構造の位置関係を把握する。 6. 系統解剖を見学し、人体の構造を3次元的に理解し、個々の身体の違いを実感する。					
回数	授業計画又は学習の主題		SBO		
			番号	学習方法・学習課題又は備考・担当教員	
1	解剖学実習Ⅱの概要とオリエンテーション			実習	
2	骨組織の顕微鏡観察とスケッチ		1	"	
3	筋組織の顕微鏡観察とスケッチ		1	"	
4	関節・靱帯学 1 3 各関節の機能模型を観察とスケッチ		2	"	
5	～			"	
6	～			"	
7	筋学 1 3 上肢・下肢の筋の観察とスケッチ		3	"	
8	～			"	
9	～			"	
10	筋学 4 体幹の筋の観察とスケッチ		4	"	
11	体表観察 1、2		5	"	
12	～			"	
13	人体解剖見学実習 新潟大学医学部		6	"	
14	～			"	
【使用図書】		＜書名＞	＜著者名＞	＜発行所＞	＜発行年・価格・その他＞
教科書		理学療法士・作業療法士・言語聴覚士のための解剖学	渡辺正仁	廣川書店	2000年 5500円
参考書		ヴォルフ 人体解剖学アトラス	内野滋雄他	西村書店	8500円
その他の資料		プリントの配布			
【評価方法】		【履修上の留意点】			
実習の出席・態度、小テスト、レポート、スケッチブック、期末試験 の総合評価		実習は標本の数により、全員が同じ順序では行えないので注意すること。解剖実習Ⅰと同様に欠席をしないこと。人体解剖見学実習の日程は冬休み期間中を予定しているので、日程をあけておくこと。			